

県民アンケートの分析結果

令和 5 年 3 月 14 日

静岡県地域公共交通活性化協議会事務局

富国有徳の理想郷 - しずおか
ふじのくに



1

目 次

- 1 アンケートの概要
- 2 詳しい分析結果
- 3 自由意見の分析
- 4 まとめ

1 アンケートの概要

今回の分析対象

区分	期間	対象	回答数
県政インターネットモニターアンケート	9月21日 ～10月4日	県内に在住又は通勤・通学している満15歳以上 (公募)	564
県民インターネットアンケート	9月22日 ～10月31日	県LINE公式アカウント 友達登録者 (交通・まちづくりに関心がある方)	366
計			930

3

1 アンケートの概要

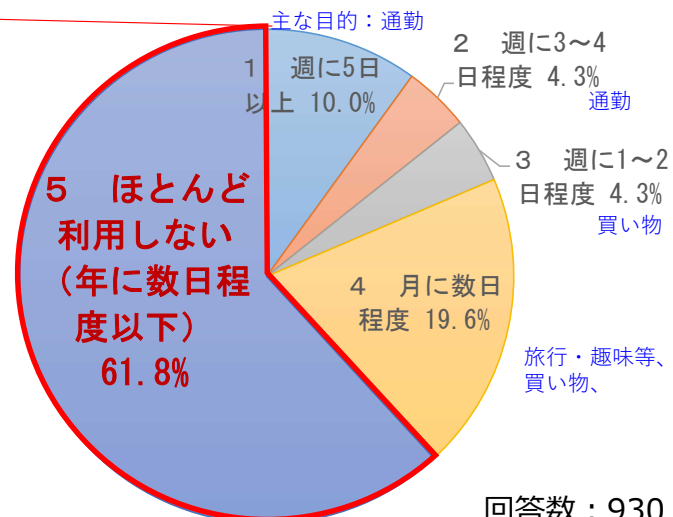
第2回協議会資料 再掲

【代表的回答結果の抜粋】

問4 公共交通機関をどのくらいの頻度で利用しますか？

利用しない理由

n = 575	人	%
1 そもそも公共交通機関を利用しようとは思わない	72	12.5%
2 公共交通機関がどこを走っているかもよく分からないため	10	1.7%
3 徒歩圏内の移動しかしないため	19	3.3%
4 家族等に送迎してもらえるため	31	5.4%
5 公共交通機関へのアクセス又は公共交通機関を降りてから目的地までの移動が困難であり、個別交通（マイカー、バイク、自転車等）を利用しているため	200	34.8%
6 公共交通機関へのアクセス及び公共交通機関を降りてから目的地までの移動は容易だが、個別交通（マイカー、バイク、自転車等）を利用した方が便利のため	152	26.4%
7 その他	91	15.8%



4

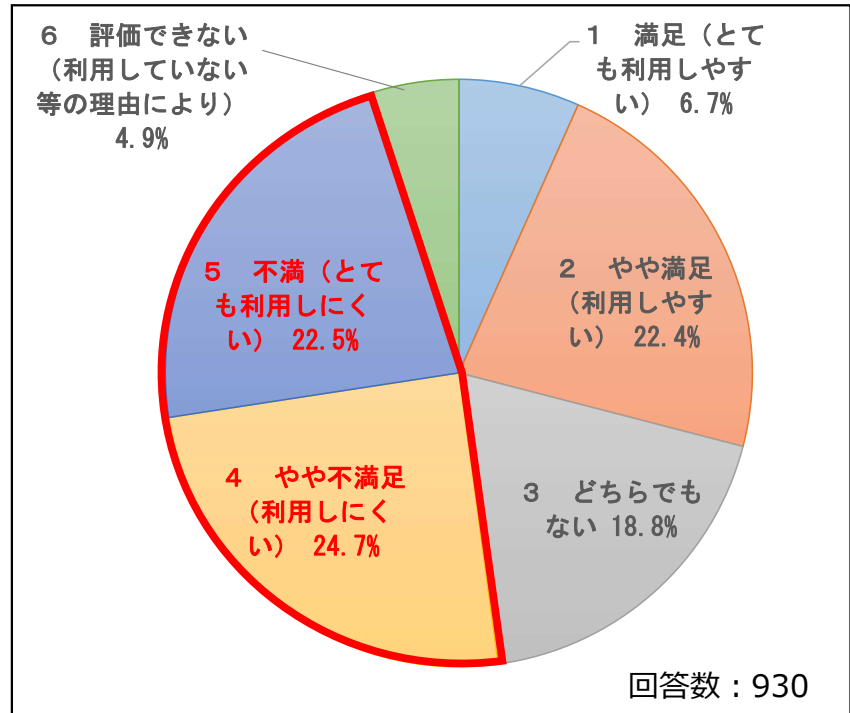
1 アンケートの概要

第2回協議会資料を再集計

【代表的回答結果の抜粋】

問5 お住まいの地域の公共交通機関のサービス内容について、どう思いますか？

普段利用しない人を含め、47.2%が不満に思っている



※サービス内容とは路線、ダイヤ、便数、運賃及びこれらの情報提供等を指します。

5

2 詳しい分析結果

調査項目

着色は今回詳しく分析した項目

基本情報	・性別（男女）、年代（10歳おき）、居住地（県内4区分）、職業
問1	免許の有無
問2	自動車の保有有無
問3	自宅から最寄りの駅、バス停までの徒歩時間
問4	公共交通の利用頻度 ←第2回協議会で示した（スライド4） 公共交通を利用する方：移動手段、目的、支払い方法 公共交通を利用しない方：利用しない理由
問5	公共交通のサービスに関する満足度 ←第2回協議会で示した（スライド5）
問6	公共交通のサービスで重視すること
問7	バス、鉄道の最低限望ましい運行間隔
問8	公共交通を利用するにあたって不安な点
問9	地域公共交通の現状に関する認識
問10	自由意見

6

2 詳しい分析結果

今回は、5つの目的地（ゴール）に到達するために何が足りないのか、県民が何を求めているか把握できるように、複数の回答を組み合わせて分析した結果を提示する。



5 目的地（ゴール）の設定・・・目指す姿が実現したとき、私たちの生活はどう変わるのか

目的地1
好きな時
好きな場所へ

目的地2
安全・安心
・快適

目的地3
最適な
移動手段

目的地4
交流の
利便性向上

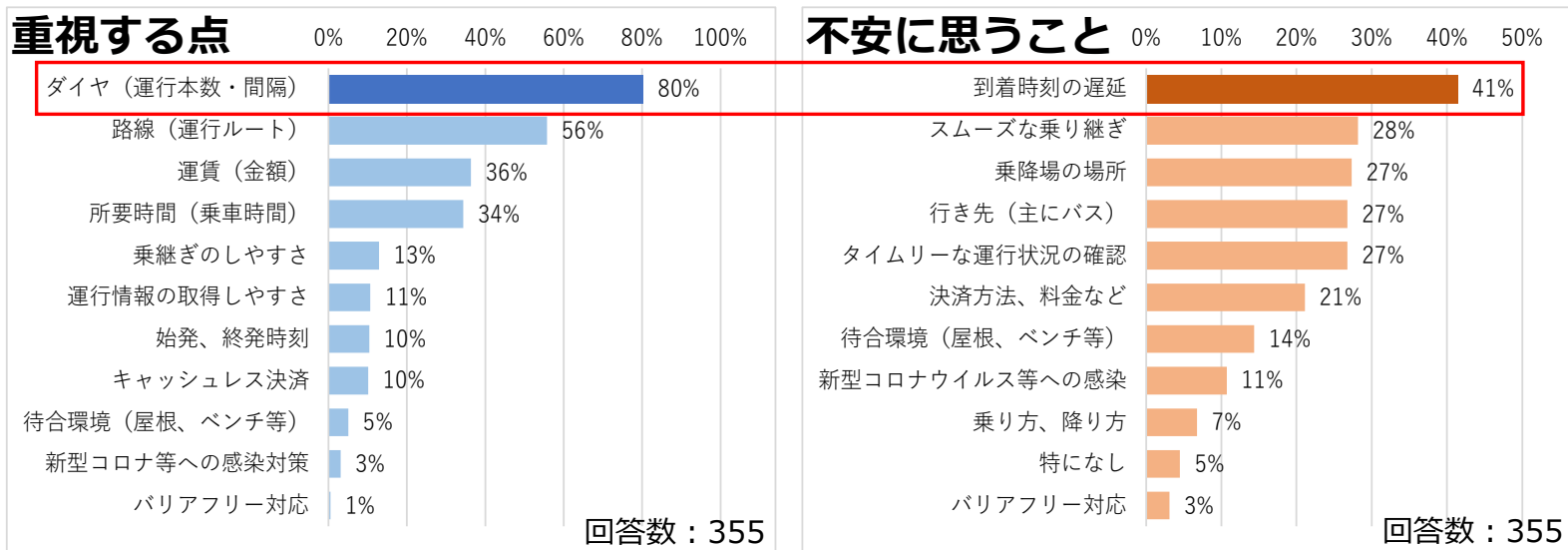
目的地5
地域の誇り
(シビックプライド)

7

2 詳しい分析結果

（問4、問6、問8の組合せ）

公共交通利用者※が重視する点と不安に思うこと ※月に2、3回以上利用している方



公共交通利用者は、時間的な項目を強く意識していることが分かる。
⇒公共交通利用者が公共交通を利用し続けるためには、一定水準のダイヤの確保、遅延の防止が求められている。

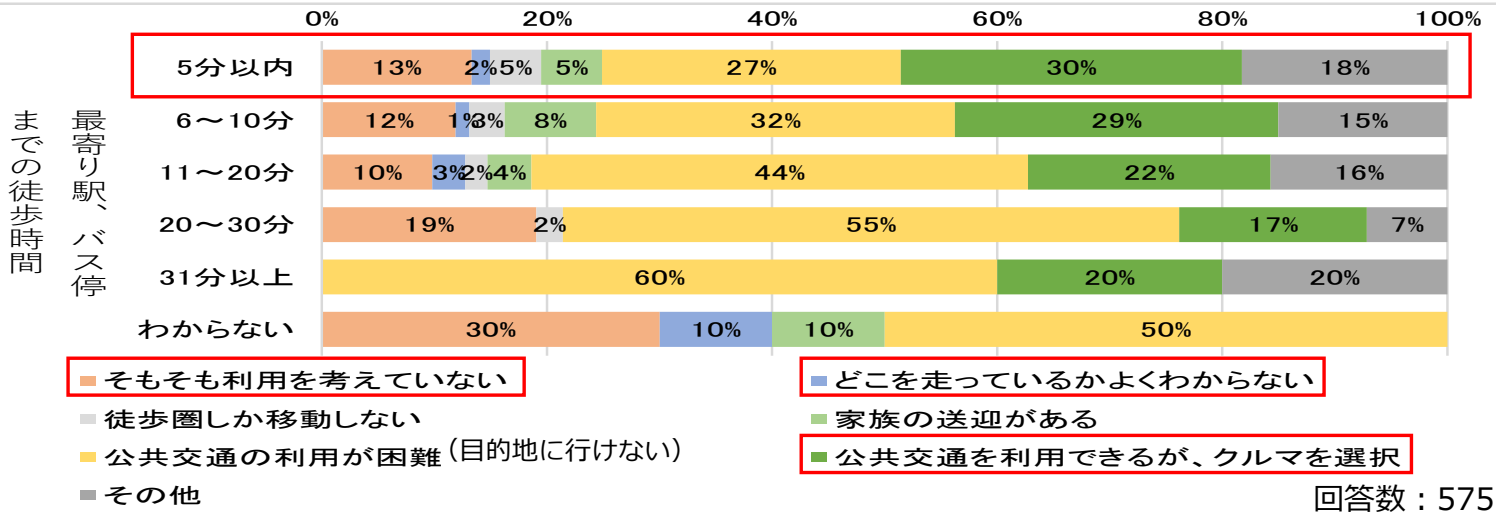
8

2 詳しい分析結果

(問3、問4の組合せ)

公共交通非利用者※が利用しない理由

※利用が月に1回以下の方



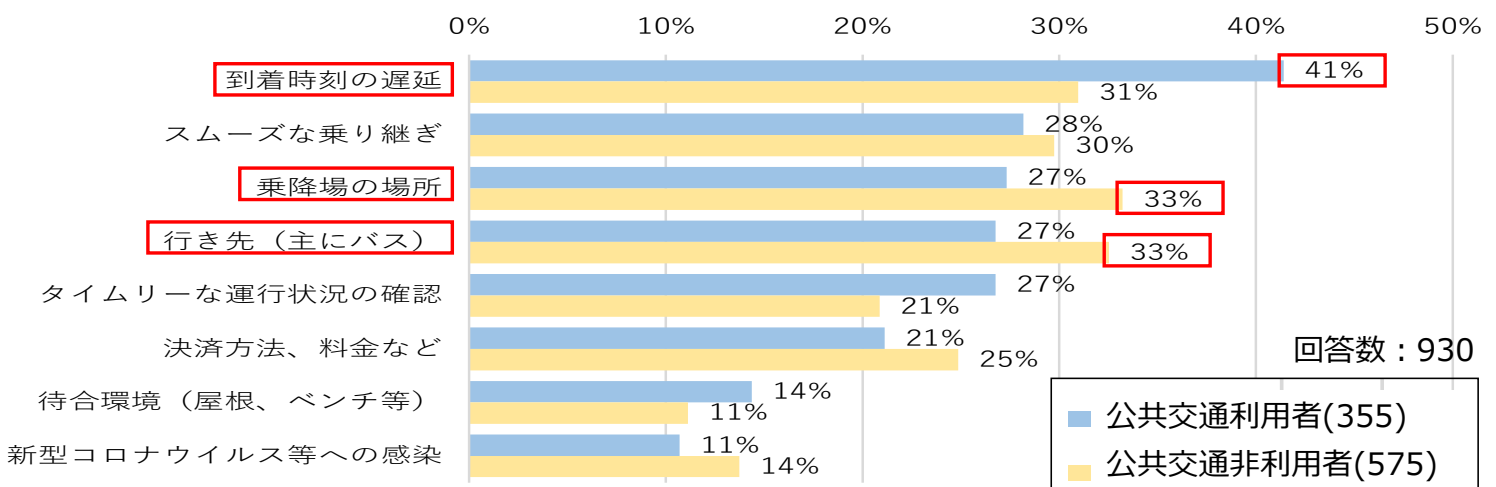
最寄り駅・バス停まで5分以内であっても、そもそも利用を考えていない方、どこを走っているか分からない方、公共交通を利用できるが車を選択する方が45%を占めていることが分かる。

⇒この方たちに働きかけることで、潜在的な利用者の取り込みが期待できる。

2 詳しい分析結果

(問4、問8の組合せ)

公共交通で不安に思うこと



公共交通利用者は、到着時刻の遅延を一番不安に感じているが、公共交通非利用者は、乗り降りの場所や行先により不安を感じていることが分かる。

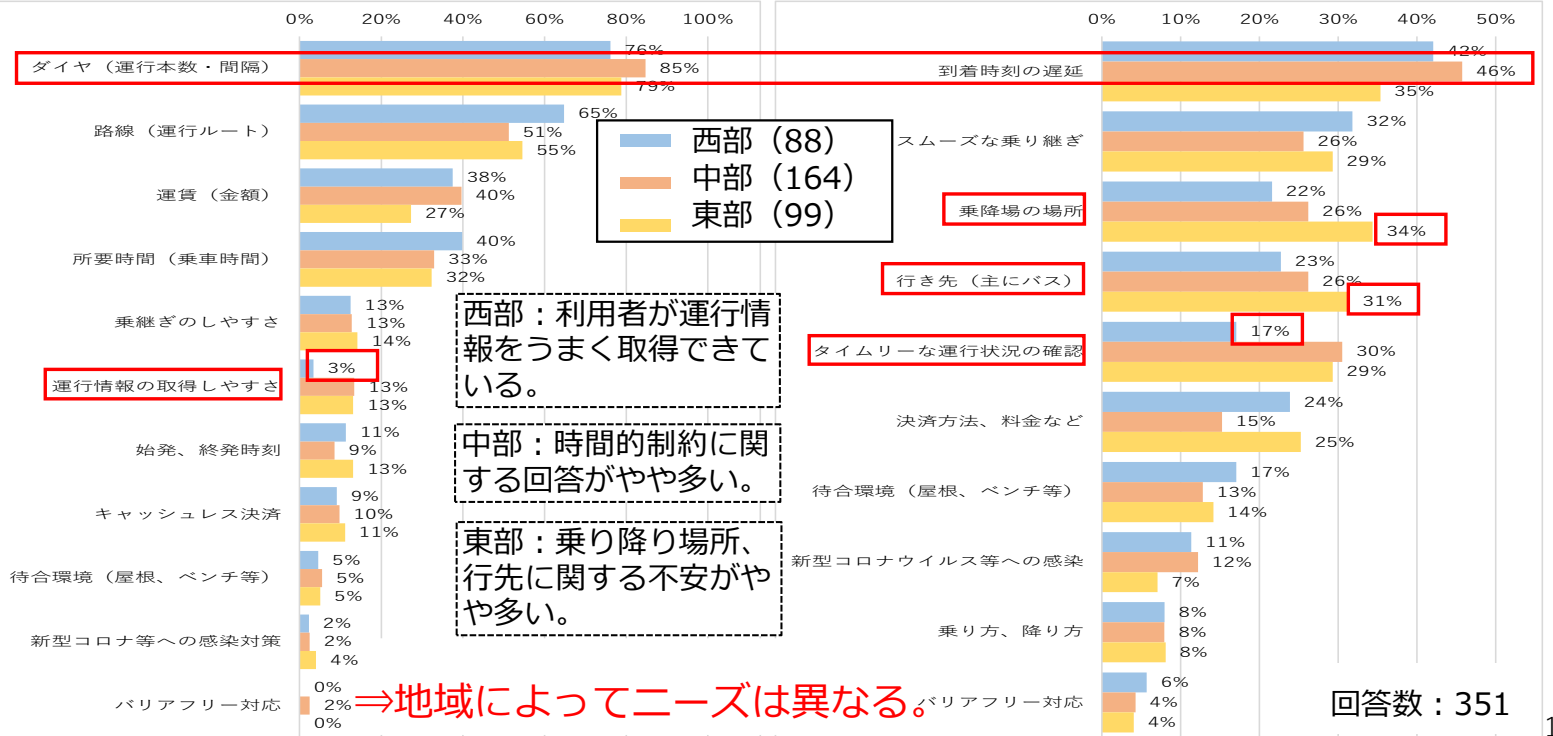
⇒乗り降りの場所、行き先について正しく理解していただければ、非利用者の方が公共交通を使えるようになると期待できる。

2 詳しい分析結果

(基本情報、問6、問8の組合せ)

公共交通利用者が重視する点 (地域別)

公共交通利用者が不安なこと (地域別)



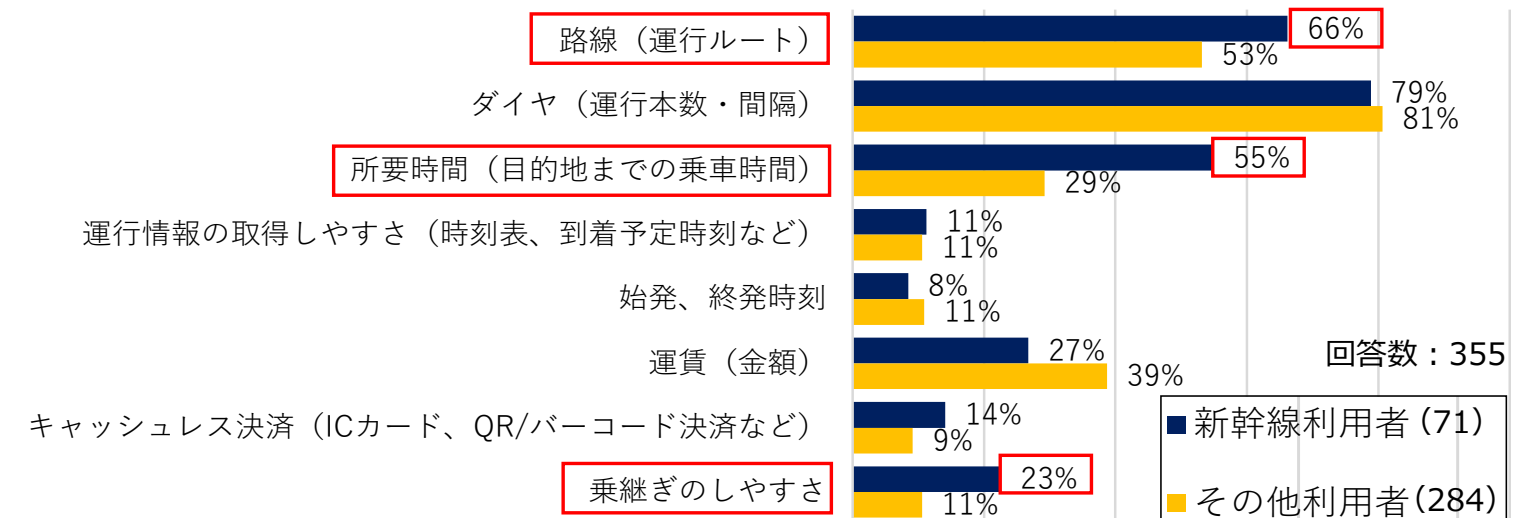
11

2 詳しい分析結果

(問4、問6の組合せ)

新幹線利用者が重視する点

0% 20% 40% 60% 80% 100%



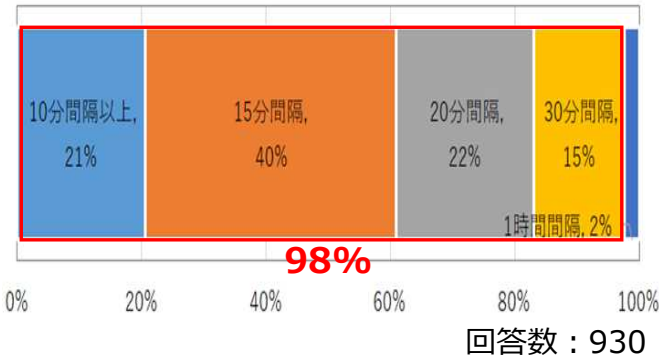
新幹線利用者は、その他利用者に比べて路線、所要時間、乗継の3つをより重視する傾向にある。他県からの来訪者の多くは、東海道新幹線を利用する。
⇒交流の利便性向上には、路線、所要時間、乗継を充実、改善する必要がある。

12

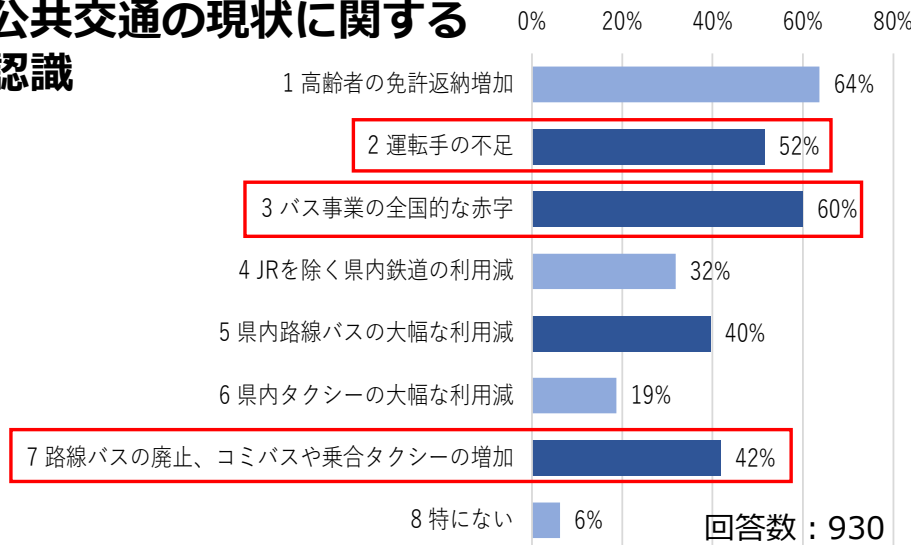
2 詳しい分析結果

(問7、問9の組合せ)

求める最低限度の運行間隔



公共交通の現状に関する認識

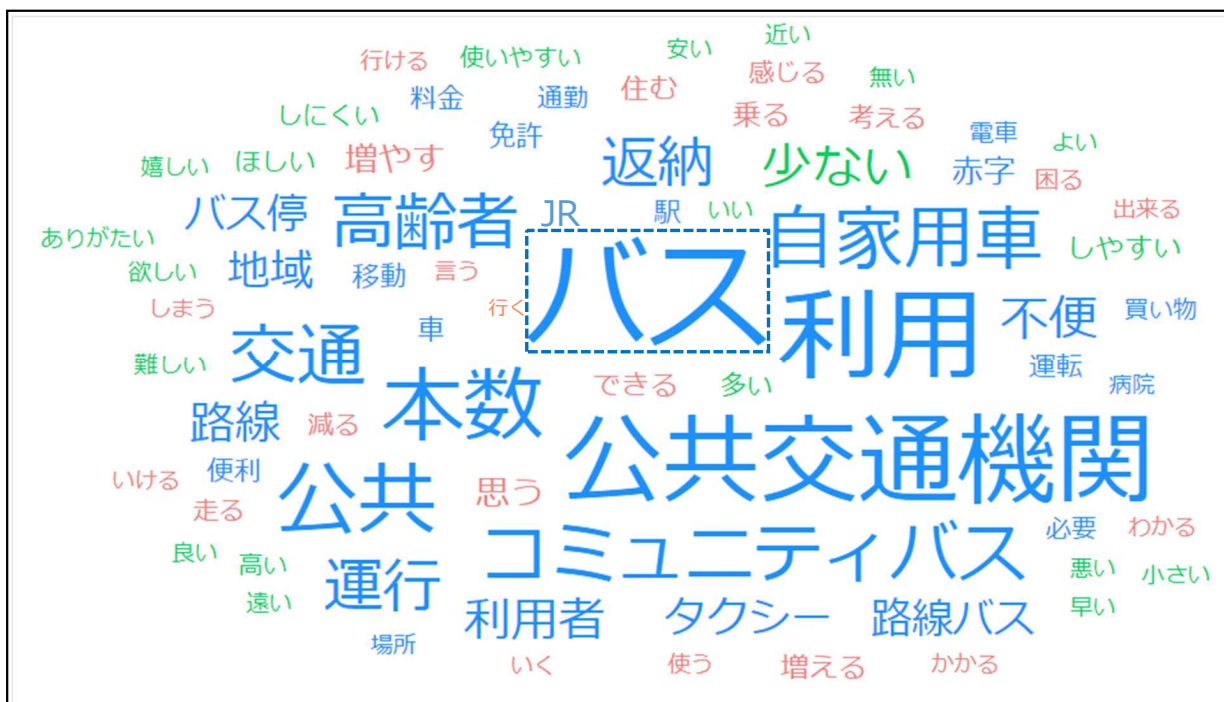


公共交通の厳しい現状について知ってはいても、9割以上の方が30分より短い間隔を求めていることが分かる。
 ⇒公共交通はあって当たり前のもではなく、地域の誇り、宝として、大切に守らなくてはならないものだとして認識してもらう必要がある。

3 自由意見の分析 (テキストマイニング)

(1) 自由意見で多く挙げた言葉

名詞 動詞 形容詞

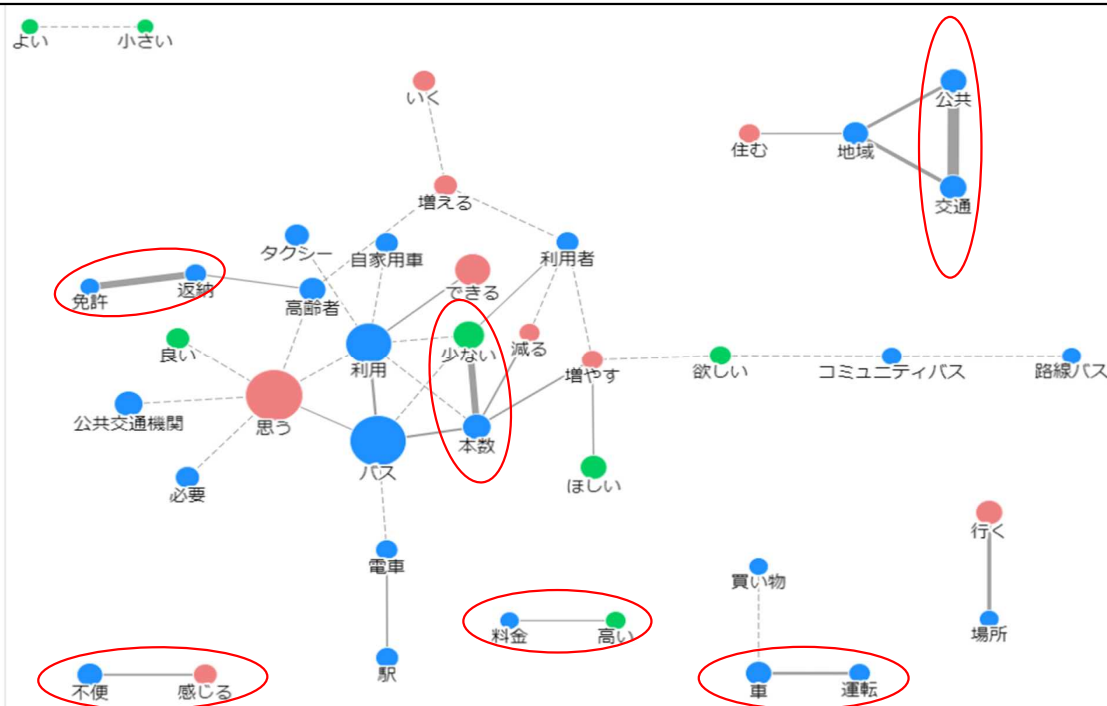


「タクシー」、「電車」などと比べ、公共交通では「バス」に対する意見の数が明らかに多い。

(図の見方)
 自由意見で主に見られた単語を抽出し、出現頻度の高さ等からスコアを付け、スコアが大きいほど文字が大きく、スコアの大きい単語の周辺に、関連する単語を配置している。(文字が大きいほどよく出てくる単語であり、その周りに関連する文字が配置)。

3 自由意見の分析 (テキストマイニング)

(2) 自由意見で挙げた言葉の組合せ



「本数」と「少ない」
「公共」と「交通」
「免許」と「返納」
などの組合せが目立っている。

「車」と「運転」
「不便」と「感じる」
などの組合せも
やや多い。

(図の見方)
頻出度の高い単語について、意見としてともに出てきた単語の関連性を分析した結果を以下に示す(共起分析)。丸が大きいほど出現頻度が高く、その単語と相関のある単語について、上位の単語を線で結んでいる。

15

4 まとめ

- ・ 日常的に公共交通を利用する方は、一定水準のダイヤの確保、遅延の防止を求めている。
- ・ 最寄り駅・バス停までの距離が近くても、日常的に利用しない層があることから、効果的な働きかけが必要である。
- ・ 乗り降りの場所や行き先について正しく理解していただくことで、これまで公共交通に縁がなかった層の利用が期待できる。
- ・ 県内であっても、伊豆地域、東部地域、中部地域、西部地域によってニーズが異なることに配慮する必要がある。
- ・ 交流の利便性向上には、路線、所要時間、乗継を充実、改善する必要がある。
- ・ 公共交通はあって当たり前のものではなく、地域の誇り、宝として、大切に守らなくてはならないものだとして認識してもらう必要がある。

16